

直轄砂防事業「冷水地区」の早期工事完了について

【担当省庁】国土交通省

天川村における取組

(現状・課題)

・平成23年9月の紀伊半島大水害において天川村坪内（冷水地区）では山腹の深層崩壊が発生し約140万m³にのぼる崩壊土砂が発生し、主要地方道高野天川線を押し流した上、河川内に流れ込んだ土砂は河道を閉塞させ、坪内・南日裏地区の浸水被害を引き起こした。

・河川内に流れ込んだ大量の土砂については、再度浸水被害を引き起こす要因でもあるため、現在までに国及び関西電力により約47.5万m³の土砂除去工事が行われ、現在は、国土交通省紀伊山系砂防事務所において、直轄砂防事業「冷水工区」を推進していただいております。小中学校への防災教育も実施していただいているが、未だ住民の災害時の不安は完全に解消されておらず、一日も早い事業の完遂が望まれている。

・村の取組としては、崩壊地の直轄砂防事業に向けた用地立会い等への協力や、この災害の記憶を後世に残すための冷水地区の利活用に向けた若手職員のワークショップ等を開催し、跡地利用について検討を重ねている。



国にお願いすること

- ・地域住民が安心して生活できるよう、直轄砂防事業の早期完了が必要不可欠であります。そのためにも、必要な予算の確保をいただくとともに、一日も早い工事完了をお願いする。
- ・砂防工事を更に推進させるとともに、あわせて河川内堆積土砂の除去について積極的に取り組みいただきたく強く要望する。

【担当部署】 天川村産業建設課